



キャットミュージックカレッジ専門学校 専門課程

平成30年度 学校関係者評価報告書

(基準日2019年3月31日)

2019年10月



学校法人 大阪創都学園

キャットミュージックカレッジ専門学校

学校関係者委員会 議事録

■開催日 2019年10月18日(金)

■開催時間 14:00～15:10

■開催場所 キャットミュージックカレッジ専門学校 本館 1F 教務室内 会議室

■出席者

瀧川紀征 吹田商工会議所 副会頭

東龍太郎 科学技術学園高等学校 通信課程大阪分室長

三原淑治 エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役

高橋国明 株式会社 白竜社 取締役 第6期生 (体調不良のため欠席)

井原延治 (学校長)

森正 (教務主任)

城将敏 (学校法人大阪創都学園事務長)

○校長挨拶

- ・挨拶
- ・委員：高橋氏が体調不良のため欠席。

○自己評価報告書実施概要についての説明

- ・昨年に係る自己評価報告書を精査、前年度(平成29年度)に比べて進級率の改善があった。

○自己評価報告書の大項目について特筆すべき内容を説明

1ー5「各学科の教育目標、育成人物像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか」について

- ・点検評価 3→4
- ・教育課程編成委員会では「PC化推進」のご意見を頂き努力している。学科ごとに業界ニーズの反映に関する授業内容の修正が行われ、カリキュラム、人材育成像にも反映できている。

2-7「事業計画に沿った運営方針が策定されているか」について

- ・点検評価 3→4
- ・長期的な目標を持ち、行事等の計画の見直しを行いながら年度ごとに運営を策定。近年では国内最大級の音楽フェスハステージスタッフとして参加。その結果、技術関係の学生に成長が見られ就職関係に大きな影響を与えている。

3-26「関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか」について

- ・点検評価を 3→4
- ・最新機材のセミナーや機材展示会の参加等、教員も参加。学生たちを指導するための取り組みは、個々の研究・参加だけでなく教員全体にも広げている。

5-39「高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか」について

- ・点検評価を 3→4
- ・高校軽音楽部等の活動イベントに対して学内外で技術／制作協力を行う。現場に学生がスタッフとして参加、技術の成長を確認できる研修的な場として活用。

※財務状況に関する報告（城事務長）

- ・貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書に沿って説明 ※詳細省略

○学科ごとの振り返り報告

楽器ビジネス学科

- ・業界関係から提案される PC 関連の知識習得に関して、基盤製作等に CAD ソフト使用を取り入れる等、対応可能な部分から順にカリキュラムに取り入れていく取り組みを行う。

音楽技術学科

- ・就活対策に工夫をしている結果として、ほぼ全員が希望する進路へ進む。
- ・設備や機材の更新が学生の学習効果へと繋がり充実した教育環境となっている。
- ・イベントや企業研修への参加を促し、現場感覚を体感、自覚させることを強化する。

総合学科

・総合音楽専攻では、外部就職エージェントに協力を頂き就職内定を頂き、今後の音楽活動を継続させやすい環境を導き出す。また、総合スタッフ専攻は、就職指導の徹底を行い就職希望者全員に内定を頂く。

・PC 活用においては制作系授業で Net 環境を整備し活用を拡げる。

ダンス学科

・連携企業の協力を頂き、特別授業や学外実習等、充実した内容を実施。業界大手の企業への就職実績へとつなげることができる。

・2019 年度より新専攻をスタートするにあたり、連携企業の皆様と協議を進めカリキュラム構築の準備を進める。

ミュージシャン学科

・「パソコン活用」については、2019 年度から新カリキュラムをスタート、音源の発信等を中心に、まとめ方や作り方を教えている。

・2019 年 2 月のオーディションにおいて高評価を得たアーティストやバンドが、各メーカー／プロダクションから資料請求や面談のお話を頂く。

・卒業後の「音楽の続け方」を考える学生が増えているので、その援助となる方法を模索中。

○その他、意見交換

・コンピューター等のバージョン UP が継続的な設備課題。

・音楽の演奏や制作/技術を教えているだけではなく、学内で楽器が製作されているということは、特色でありブランド力でもあると思う。この内容が、HP やパンフレット等で記載はされているが、一般的には判りにくい。また、学校名から連想されにくいダンス学科の存在も、また一つの特色だと感じる。

○評価者の方々からのご意見及び質疑応答

・クラフト系学生の PC スキルの修得は、企業の大量生産の担い手として必要なもの。しかし、それだけでなく製品は高価になるがハンドメイドの技術による魅力も大切にしてほしい。

- ダンス学科の特色としてテクニックに対して鋭角的な特化を目指すのは良いことだと思う。

- 技術系学生が行っている地域のイベントへの貢献は、今後も継続して行って欲しい。また演奏系学生の出演等も今後に期待したい。

- 演奏系の学生に対して、制作関連の業務を学ばせることは意味があると思うが、同時にその必然性と魅力を教えていくことがプランとして必要だと感じる。

- 技術系の現場ではハラスメント等の問題はどうか扱われているのか？

→現在の現場での指示事項等では、丁寧な表現を監督/ディレクション関連の方々の方が気を付けている様子が伺える。